

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団 体 名 春光スノーコミュニケーション実行委員会
2 事業の名称	春光スノーコミュニケーション
3 実施期間	令和4年12月16日から令和5年3月23日まで
4 事業内容	<p>○事業概要</p> <p>1 春光スノコミFES!2023 (日 時) 令和5年2月11日(土) 15:00~17:30 (対象者) 子どもを中心に春光地域住民 (場 所) 北部住民センター駐車場 (内 容) 雪つみ選手権, アイスクリーム作り体験, スノーランタンづくり お汁粉の提供</p> <p>初めての開催であったが, 未就学児から小学生, その親を中心に66名が参加。その他, 旭川大学黒川ゼミと北都保健福祉専門学校の学生ボランティアも参加し, どの取組も盛り上がり, 子どもたちからは「また来たい」「楽しかった」などの声があった。雪つみ選手権では, 2mの高さまで雪を積み上げたチームが1位になった。</p> <p>2 「除雪に関するアンケート」の実施 (アンケート期間) 令和5年1月11日~令和5年3月23日 (配布先) 春光地区の町内会及び高齢者サロンサークル参加者 合計740枚 (回収方法) 各町内会に返信用封筒を配布し, 町内会ごとにまとめて郵送による返送を依頼した。サロンサークル参加者は, 春光・春光台地域包括支援センター職員が回収した。アンケート結果の分析を行い, 地域住民が持つ除雪に対するイメージを把握した。</p>
5 成果と課題	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを通して, 若い世代や子どもたちの冬や雪に対するネガティブイメージを緩和することができた。 ・地域イベントにボランティアとして若い世代が参加してくれたなど, 新たな担い手の発掘ができた。 ・除雪アンケートにより, 除雪が地域住民に与える影響を分析できた。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代にしぼるだけでなく, 多世代交流できる仕組みを考えていく必要がある。 ・アンケート結果を, 取組として反映していく必要がある。